



# こうべ森の学校だより

No.86  
2019年3・4月号

発行人：こうべ森の学校 編集委員会

発行所：神戸市北区山田町下谷上中一里山 4-1

神戸市森林整備事務所内

Tel: 078-371-5937 Fax: 078-371-1087

## 2019年度のスタートです

こうべ森の学校

代表 藤原恒夫



本年度も安全とコミュニケーションを基本に活動します。我々の活動は「森を守り、豊かな森を育てる」です。その中では、刃物(道具)を使うことが多く、危険な作業もあります。しかし、ボランティア活動では絶対に事故は許されません。道具は正しい使い方を習得すること。そして集中力をもって扱わなければなりません。使った後の手入れも必須です。

夏の暑い日は、脱水症状をおこさないように、こまめに水分摂取を、無理をせず、適度に休息をとること。冬の寒い時は、十分に準備運動をしてから活動にかかると。でないと、安全に対する集中力が発揮出来ないからです。それでも、偶発的にスズメバチやハブ、ダニ等から攻撃を受けることがあります。それらに対処する知識も必要です。このような外敵からの危険状況は、本人より回りの人の方が分かりやすい場合があります。的確にコミュニケーションをとりながら作業することが肝要です。

また、去年は巨大な台風が二度来襲、我々の活動地でも大きな風倒木が発生、その処理に追われました。地球

温暖化、エルニーニョの影響もあってか、台風はここ数年日本近辺で急速に発達したまま上陸するようになっていきます。本年度も覚悟しておいた方が良いのではないかと思います。そこで風倒木の処理には細心の注意が必要です。枝が複雑に絡まり、木の重心も分かりにくい中での作業になりますから、木の全体バランスの見方、周囲の木の様子、地形の見方、正しい道具の使い方、それらを集中力をもってやらなければなりません。それには、日頃から「正しい森の手入れ」が出来るようになっていなければなりません。

昨年度通常活動地は鍋蓋山方面から大師堂の間をやりました。例会地は駐車場前でした。これまで荒れていたハイキング道も整備され森の中にも入りやすくなりました。見た目もスッキリしました。今ではハイカーさんから感謝の声をかけてもらえます。今年度も引き続きハイカーからよく見える場所を活動地にしたいと思います。

5月から元号が『令和』となりますね。梅を詠った万葉集から命名されたそうですが、我が活動地にも梅の園があります。でも手入れが行き届かず少ししょぼいですね。気になっておられる方もいるでしょう。森学でも少しお手伝いが出来ればと思います。



3月9日 例会の集合写真

## ごあいさつ

くりやま あきひさ  
森林整備事務所所長 栗山 明久



はじめまして。4月1日付けで着任しました、栗山です。森林整備事務所の仕事は今回が初めてとなりますが、再度公園の「こうべ森の学校」については、皆さんが熱心に活動されている様子をその時々、の所長や副所長などから聞いており、以前から興味をもっていたところです。

また、前の職場では、県と市が協調して六甲山を活性化

していこうという時期に、六甲山の規制（みどりの聖域や風致条例など）の仕事に関わったことから、再度公園を含む六甲山全体の情報について様々な機会に触れることができました。その中で、六甲山の重要なテーマは「再生」であると感じていましたが、着任以降、春の息吹を感じさせる再度公園の景色に触れるにつけ、森の手入れの大切さをあらためて感じているところです。

これからも、楽しく安全に「こうべ森の学校」の活動が進められますよう、どうぞ、よろしく願いいたします。

## 東お多福山の活動

東お多福山草原保全・再生研究会の活動が3月23日(土)と4月13日(土)に実施されました。



作業手順の打ち合わせ

われるとのことでした。

4月13日は芦屋市側の登山道周辺のネザサ刈りを中心

3月23日は、早春の全面刈りを行い、昨年刈り取って、干しておいたススキを持ち帰りました。芦屋の会下山遺跡の茅葺住居の復元に使

に行いました。以前は背丈以上のネザサに覆われていましたが、今では大阪湾が一望できるようになり、新たな、展望スポットとして訪れるハイカーも増えてきました。



登山道沿いのネザサ刈り

今年度は5月15日(水)、7月17日(水)、10月2日(水)、11月23日(土・祝)、12月7日(土)、2月29日(土)に実施予定です。皆さまの参加をお待ちしています。

## 岡本桜回廊お花見ハイキング

「第4回岡本桜回廊を巡るお花見会」が4月6日(土)に開催されました。六甲山グリーンベルト整備事業に参加している東灘区内の森林ボランティア団体が企画・実行している市民参加型のイベントで、今回は参加人数が150名を超えるまでになりました。

9時に甲南山手を出発、森稲荷神社を通り、魚屋道コースと神戸薬大尾根コースに分かれて、金鳥山経由で保久良神社を周遊しました。道中、森林インストラクター兵庫のメンバーにガイドをしていただき、知識

を深めることができました。ヤマザクラやコバノミツバツツジが見頃でした。

保久良夢広場にてプロミュージシャンによる野外ライブや豪華景品が当たるじゃんけん大会など、一般の方にも楽しんでいただけたことと思います。



森稲荷神社にて

## 花のフェスタこうべ 2019 開催

花と緑豊かな街づくりを進める「花のまち神戸」運動のメイン行事「花のフェスタこうべ2019」(神戸市・(公財)神戸市公園緑化協会)が4月27日(土)神戸総合運動公園にて開催されます。

花や緑に関する楽しい催し、各種体験教室、植木市など、また、水上ステージではミニコンサート、

戦隊ショー、ビンゴ大会など、1日中楽しめるイベントが盛りだくさんです。

こうべ森の学校も木工作品の展示即売、クラフトコーナーなどを出展いたします。

市民の皆さんに森の学校の活動を知っていただきたいです。皆様のご来場をお待ちしています。

## 宮城県の仮設住宅で追悼行事の支援活動

木下 英吉

東日本大震災から8年を迎える3月11・12日、ひょうごボランティアプラザ(兵庫県社協のボランティア支援部門)主催のボランティアバスに30名(最高齢81歳)が参加しました。



愛島東部団地仮設住宅

先立ち、入居者が震災前に住んでいた閑上地区日和山の慰霊碑に立寄りました。この辺りは、かさ上げ工事が完了・



雨中ローソクに灯して

区画整理の工事中で、元の様子が窺えないほどに変わっていました。当仮設住宅は、180世帯以上が入居していたが、復興住宅や戸建て住宅に移り、現在は高齢の6世帯が暮らしています。今年中には全世帯が出て、仮設住宅を閉鎖するので、今回が最後の訪問です。小雨や強風注意報が出る天候の中、犠牲者名が書かれた竹灯籠700本を兵庫から持込み、追悼行事の準備にかかります。「3.11、メデシマ、どうもね〜(ありがとうの意)」の文字に並べ、水を入れてローソクを浮かべます。14時30分頃には風雨も弱くなり、周りには住民やボランティア・報道関係者が集まりました。献花を供え、犠牲者名が書かれた竹灯籠を見つけると、神戸から分灯された「1・17



17:46 全員で手を繋ぎ

希望の灯り」をローソクに移し、丁寧に気持ちを込めて、火を灯されていました。発災時刻の14時46分には、付近にサイレンが響き渡り、全員で1分間の黙祷を捧げ。また17時46分(阪神・淡路大震災の発災時刻5時46分に因み)には、名取市長も駆けつけていただき、その場に居る全員が竹灯籠を囲むように手を繋ぎ、心を一つに1分間の黙祷を捧げました。

○11日(月)、これまでの7年間(3・8・12月)に支援・交流を続けている名取市愛島(メデシマ)東部団地仮設住宅での追悼行事のお手伝いです。

区画整理の工事中で、元の様子が窺えないほどに変わっていました。

当仮設住宅は、180世帯以上が入居していたが、復興住宅や戸建て住宅に移り、現在は

希望の灯り」をローソクに移し、丁寧に気持ちを込めて、火を灯されていました。発災時刻の14時46分には、付近にサイレンが響き渡り、

終了後は、集会所での交流です。住民・ボランティア・学生・地元や神戸からの報道関係者が一堂に会し、それぞれが思い思いの席に座り、7

年間の思い出や近況等を交し、共に一時を過ごしました。

○12日(火)、復興団地「閑上中央団地」での清掃と追悼行事の後片付け

1班は、集会所と団地周りの清掃です。他班は、仮設住宅での後片付けで、昨日使ったロウソクや竹灯籠は、竹割り器で細かく

して土嚢袋に詰め、バスのトランクに積み込みました。

午後は、全員復興団地に合流。自治会長より現状や問題点等の説明で、この地域は、小中学校が完成・戸建て住宅も建ちつつあり、来月下旬には公民館や名取川沿いに商店街がオープン予定で、

5月末頃には「まちびらき」を迎えるとのこと。「復興したから大丈夫という雰囲気が強まる恐れがある。街並みや建物は整ってきたが、コミュ

ニティーづくりは始まったばかり。住民が顔を合わせる機会を増やすことは欠かせないが、住民だけでは何もかもできないと感じる。兵庫とのつながりは必要で、これからも力を貸していただきたい」と、伝えていただきました。その後、地区内を「まち歩き」しながら、案内役の地元の人は、「住民同士がふれ合う場所ができるのは何よりもうれしい。一人では、何もできないことを震災で痛感したが、支援を受け人の温かさを知った。人の繋がりは何よりも大切」と胸の内を語っていただきました。

今回で仮設住宅訪問は、終了となったが、復興団地や新しい地区でのコミュニティづくり等「まちづくり」面での支援に携わる予定です。



市長も駆けつけ



献花を供えて



使用後の竹灯籠を片付け

■前々回・前回の報告

日付	参加者	司会	午後・森の手入れ	木工工作	自然観察	苗づくり
2月17日(日)	67名	谷本さん	15名	17名	11名	7名
3月9日(土)	45名	松本さん	14名	8名	6名	8名

**豚汁の提供**

2月17日(日)の例会日は豚汁の提供がありました。今回は「日本一辛い黄金一味」でいただきました。刺激で身体が火照るような感じで、午後からの作業も捗りました。炊事当番のみなさん、ありがとうございました。



**例会の開始時刻が早くなります**

平成31年4月より、例会の開始時刻が30分早くなり、午前9時30分受付開始、10時00分から例会を始めます。午前中の活動時間が30分増えたことで、より一層、森の手入れに専念していただけることと思います。集合時刻に遅れないよう、余裕を持ってお越しください。

**カシナガキクイムシ被害について**



駐車場の西側の森の中にカシナガキクイムシの被害木が発見されました。現在、森林整備事務所において被害拡大防止対策をしています。新たに発見された方はスタッフにお声がけください。

**お知らせ・掲示板**

♠こうべ森の小学校 & 森のようちえん

次回の開催予定日は5月26日(日)  
(問い合わせは、神戸市森林整備事務所に)

♠摩耶の森クラブ

次回の開催予定日は4月27日(土)  
(問い合わせは、神戸市森林整備事務所に)

♠バスの運行

こうべ森の学校月例会には神戸市バス25系統(三宮～森林植物園)をご利用ください。三宮の乗り場はミント神戸1階三宮バスターミナルM4停留所、9時20分発のバスに乗れば、例会に間に合います。

運行日は4月～11月の土日祝日のみで、平日の運行はありませんので、ご注意ください。

また阪急バス61系統(神戸駅南口～鈴蘭台)は通年運行しております。神戸駅南口バス停9時発のバスに乗り、水源池バス停で下車して徒歩25分で、こうべ森の学校「風楽山荘」に到着します。

平成26年度から再度公園駐車場が無料開放されています。こちらもご利用ください。

♠ボランティア保険に加入していますか

森の手入れの作業中の事故に備えて「兵庫県ボランティア・市民活動災害共済保険」への加入手続きをされていますか。掛け金は500円の負担で補償期間は4月1日から翌年3月31日までです。受付窓口はお住まいの市区町社会福祉協議会です。

会員活動の開催予定日

・月例会 5月11日(土)・6月16日(日)

午前中は全員で森の手入れを行います。午後は自然観察・木工・苗作り・森の手入れから選択をしていただきます。

・上記以外の火・木・土曜日にも活動しています。

「こうべ森の学校」は、発足当初から物心両面にわたり伊藤ハム株式会社の社会貢献活動の支援を受けて運営されています。

**再度川柳** 森の学校会員の谷口さんの投稿です。

“ 令和 心得川柳 ”

礼は(令和)、しなくていいは(和)、よいは(和)と云われても 感謝の礼は(令和)、礼(令)儀だよ。

**編集後記** 今月は、「平成」最後となる月例会となりましたが、皆様にはどんな思い出がありますか!? 森は大きな変化もなく、いつも我々も迎えています。「令和」も、変わらず安全な活動で、関り続けたいですね。(木下)